

面接試験（個別面接用）

学部学科(課程)名等	地域創造学環
------------	--------

選 抜 区 分	推薦Ⅰ 選抜方法A（平成31年度）
面 接 官 数	3人×3室+プレゼンテーション準備室2人（監督者） 計11人
面 接 時 間	約53分（受験生1人に対して；プレゼンテーション準備を含む）
主な質問内容	<p>募集要項に記載のとおり、「思考力、判断力、表現力、自ら学び成長していく意欲など」を評価する。</p> <p>1.（プレゼンテーション準備室）面接室において、下記の事項について6分間で話をしてもらいます。あなたが「活動報告書」に書いたこととの関連で地域社会の諸問題の中から1つをとりあげ、</p> <p>(1) その問題があなたの取り組んできた活動とどのような関連があるのか、</p> <p>(2) その問題の原因や背景をあなたはどうか考えるのか、</p> <p>という2点について説明をしてください。これから、面接の際の話の内容を聞き手に正しく伝えるための補助手段として説明用のボードを作成してください。作成時間は、35分間です。なお、面接においては、6分間で話をしてもらったあと、質疑応答を行います。（約60cm×約90cmのホワイトボード、3色のペン、イレイサーは大学側で用意）</p> <p>2.（面接室に移動後）受験番号・氏名の確認</p> <p>3.「作成したボードを利用しながら、これからいう2つのことを6分間で話をしてください。まず1つは、あなたが「活動報告書」に書いたこととの関連で、地域社会の諸問題の中から1つをとりあげ、その問題があなたの取り組んできた活動とどのような関連があるのか、についてです。もう1つは、その問題の原因や背景について、あなたはどうか考えるのかです。では、どうぞ。」</p> <p>4. 質疑応答（約12分間）</p> <p>(1) プレゼンに対する質疑応答（8分間を目処に）「まずは、いまのあなたの説明について、いくつか質問をします。」</p> <p>(2) 「学びの計画書」に関する質問（4分間を目処に）「それでは次に、今後、その地域の問題にどのように関わることができそうなのか、あらかじめ提出した「学びの計画書」の内容を踏まえて、話してください。」</p>